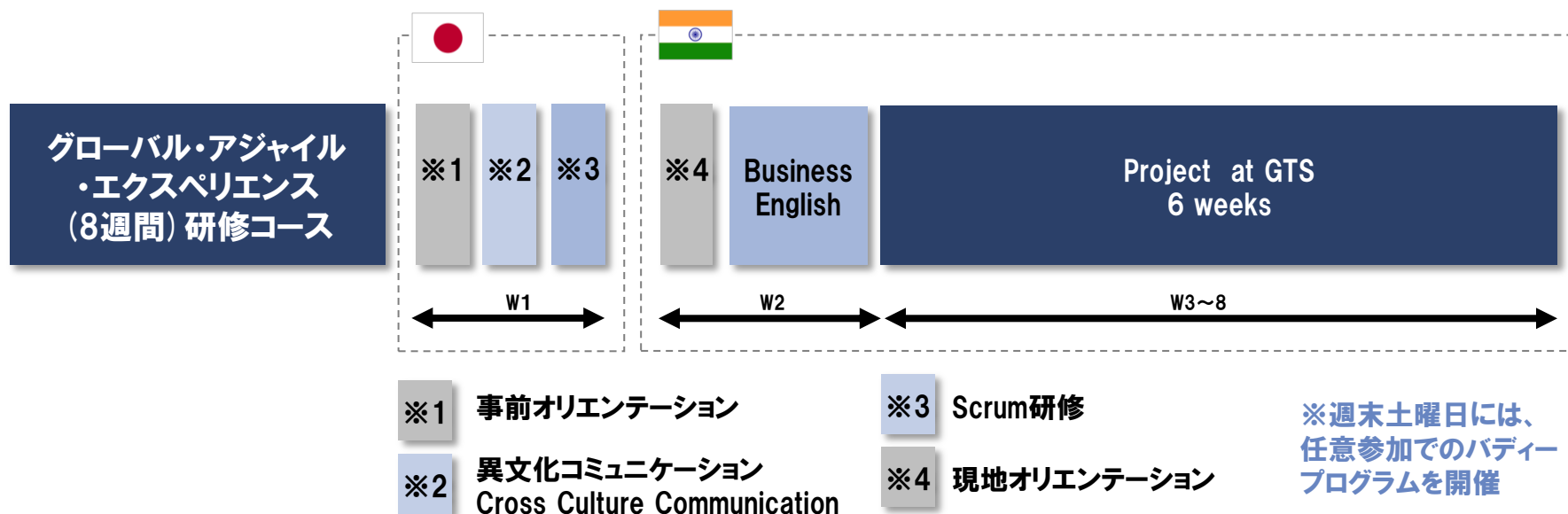


## ■グローバル・アジャイル・エクスペリエンス(8週間)研修コース



### グローバル・アジャイル・エクスペリエンス研修コース概要

- 研修期間:** 8週間 (日本:1週間、インド:7週間)
- 研修場所:** 日本:東京都江東区豊洲、インド:マハラシュトラ州プネ市(NTT DATA GTSオフィス内)
- 参加人数:** 10~20名(ご要望に応じてカスタマイズ可能)
- 参加条件:**
- 1) 2年以上の開発経験(推奨)
  - 2) TOEIC:700点以上(推奨)

## ■Agile開発の定義

Agile開発とは、**変化が早く、不確実性が高いビジネス環境**において、以下の目的を達成するための開発手法です。



### ビジネスの失敗リスクを低減

- ・ 早期にソフトウェアを市場にリリースし、市場からのフィードバックを得ることで、ビジネスの成功確率を高める



### 継続的なビジネス価値の向上

- ・ ビジネス環境の変化にソフトウェアを可能な限り同期させることで、ITによるビジネス価値を高める




### IT投資対効果の最大化

- ・ 初期のIT投資を最小化し、顧客ユーザが真に必要とするソフトウェアへと成長させていく

Agile開発 ≠ ソフトウェアの作り方

Agile開発 = ビジネスの作り方

## ■Gグローバル・アジャイル・エクスペリエンス詳細

1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修先インド及びブネの経済/文化/生活状況 理解</li> <li>研修プログラム/滞在先の環境理解</li> <li>現地でのDo/Don't、インド携帯配布、GTSサポート体制説明</li> </ul>	2時間	日本
2	Cross Cultural Communication	<ul style="list-style-type: none"> <li>異文化を理解することで、日本文化、日本におけるビジネスを客観的視点から観察</li> <li>様々な観点から物事を捉え異文化を理解することでコミュニケーション能力を向上</li> <li>国際的な領域で活躍する為に必要な理解力・調整力・交渉力を習得</li> </ul>	8時間	日本
3	Scrum Training	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジャイル開発手法の概要の理解</li> <li>Scrum実施におけるプロセス等を演習をしながら学ぶ</li> <li>現地での演習に備え、課題・疑問を整理し実勢に臨む</li> </ul>	8時間	日本
4	Business English	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロールプレーより実践で生きる英会話スキルの強化</li> <li>パネルディスカッションを通じて、特にスピーキング能力の向上</li> <li>有効的にビジネスを行う手段としてのビジネスコミュニケーションを理解</li> </ul>	40時間	インド
5	Project	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地メンバー(インド人)との混合チームにてプロジェクトの実施</li> <li>1週間のスプリントを複数回実施し、実際の現場にてスクラムを習得する</li> <li>ご要望に応じてお客様プロジェクトの実施も可能</li> </ul>	240時間	インド
6	バディープログラム 課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス上だけではなく、異文化における生活、習慣、風習を肌身で感じ取る</li> <li>相手の国籍/言語に関係なく、自然体でのコミュニケーション能力を習得</li> <li>相互に刺激し合える環境であるため、仕事やキャリアに対するモチベーションが向上</li> </ul>		インド

取り組み次第で無限大の可能性